



利用者の声を聞いてみましょう

行きたい所・見たい物がたくさんある

Aさん



公共交通を利用したいけど乗り方がよく分からない

「私は元気なうちに、いろんな物を見て歩きたいと思っていきます。市内の公園や名所など行ったことのない場所が、まだまだたくさんあるんです。天気のいい日に電車やバスなどを利用して、どこにでも行けたらいいのですが、あまり乗ったことがないのでどうしても敬遠してしまいます。私にも分かるような、乗り場や乗り継ぎの仕方などの案内表示が、どこにもないと安心して利用できませんが…」

都心部へ毎日通勤する働き盛りの

Bさん



「通勤に公共交通を利用してはいますが、混雑している車内などはあまり快適と言えません。休日ぐらいいはマイカーでという気にもなってしまうのですが、渋滞や駐車場の気

はつらつと子育てに奮闘する

Cさん



運転をしないので日常生活に公共交通は欠かせません

「車の運転をしない私にとって、公共交通はなくてはならないものです。普段の買い物はもちろん子供の定期健診などで出かけるときは、ほとんど公共交通を使っています。マイカー生活の人でも、お酒を飲んだときや、冬の間など、公共交通機関を利用する機会は必ずあるのではないのでしょうか。毎日のように利用していると運賃がかなりの負担に…。休日、家族みんなで出掛けると、結構な金額になってしまいます」

充実した日々を送る多趣味な

Dさん



「今の生活での移動手段は、マイカーが中心。時間を見付けては、仲間とテニスやゴルフをしたり釣りやキャンプにも行ったりと、寝る間も惜しんで楽しんでるよ。行き

このままでは公共交通が危ない!?

利用者を増やし

“みんなの足”を確保

マイカーは、時間にとられない自由な移動を可能にし、個人の行動や生活を支えるとても重要な存在です。公共交通は、そういった面で確かに及ばない点がありますが、自動車を運転しない人やお年寄りなどにとっては、唯一の移動手段。今、マイカー中心の生活を送っている人も、いざれ頼りにするときにくるはずですよ。

市や関係各機関では、交通渋滞の緩和による定時性の確保や、乗り継ぎ環境の改善など、さまざまな課題に取り組む、公共交通の利用促進に力を入れています。また、今後見込まれる高齢者の増加や、障害のある方の積極的な社会参加などのためにも、安心・安全な乗り物として、「使いやすい」「分かりやすさ」を重視した一層の利便性向上に取り組んでいきます。

路線バスの規制緩和で危ぶまれる公共交通の存続

今年二月の道路運送法の改正で、路線バスの規制が緩和されました。これによりバス事業者は、原則として参入・撤退が自由になりました。